

シンポジウムの記録



あ と が き

東北大学多元物質科学研究所と九州シンクロトロン光研究センターは、「多元的物質とシンクロトロン放射光が紡ぎ出すイノベーション」をテーマとして、2012年7月30日に東北大学の片平さくらホールで合同シンポジウムを開催しました。本報告書はその内容をまとめたものです。このシンポジウムでは、現代社会のニーズを満たし将来世代の可能性を広げるためのイノベーション創出への期待を見据え、両研究機関がそれぞれ得意とする分野での活動を報告しました。即ち、多元物質科学研究所における新機能、省エネルギー、低環境負荷などを実現する物質・材料の創出と計測技術の開発、そして九州シンクロトロン光研究センターにおける放射光を用いた物質・材料の構造と機能の相関解析や照射効果の応用に関する活動を相互に理解すると同時に、数多くの討議を通じてこの両者が紡ぎ出す新しい可能性を探ることが出来ました。さらに、東北放射光施設構想に関する紹介が行われ、近未来に向けた力強いアプローチに参加者一同感銘を受けました。是非、計画の成就を願うものです。

今回のシンポジウムは、九州シンクロトロン光研究センターの第6回研究成果報告会、文部科学省先端研究施設共用促進事業、及び先端共用施設イノベーション創出事業、JST先端的低炭素化技術開発事業(ALCA)の一環として、さらに、東北大学多元物質科学研究所の実施する国立5大学附置研究所「ナノマクロ物質・デバイス・システム創製アライアンス」事業、「物質・デバイス領域共同研究拠点」事業の一環として行いました。また、日本鉄鋼協会評価分析解析部会表面界面解析フォーラムの協賛、佐賀県と九州シンクロトロン光研究センター利用推進協議会の後援をいただきました。

シンポジウム当日は、暑い中を約70名のご参加をいただき、両機関の概況報告、特別講演、招待講演、特別報告、一般講演など15件の口頭発表と31件のポスター発表が行われ盛況でした。また、発表終了後に開かれた研究交流会にも多数参加をいただき交流を深めることができました。東北と九州の距離感とそれを超えた親近感が入り交じった印象深いひと時でした。今回のシンポジウムへの参加者、講演者、および関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

今後、新物質・材料の創生と放射光等を用いた評価が表裏となって社会的課題の解決に貢献できるように一層の努力を行う所存です。益々のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

九州シンクロトロン光研究センター
副所長 平井 康晴

著作権法に基づき、本書のいかなる形式の複製または転写も、
当該箇所の著作者による事前の許可が必要です。

(お問合せ先)

■ **東北大学 多元物質科学研究所**

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2 丁目 1 番 1 号

TEL: (022) 217-5204 FAX: (022) 217-5211

URL: <http://www.tagen.tohoku.ac.jp/>

■ **公益財団法人佐賀県地域産業支援センター**

九州シンクロトン光研究センター 利用企画課

〒841-0005 佐賀県鳥栖市弥生が丘八丁目 7 番地

TEL: (0942) 83-5017 FAX: (0942) 83-5196

URL: <http://www.saga-ls.jp> E-mail: riyou@saga-ls.jp